

地学探究（文系）	単位数	2 単位	実施予定授業数	7 0 時間
----------	-----	------	---------	--------

1. 学習の到達目標

学習の到達目標	2 年の「地学基礎」では、日常生活や社会との関連を図りながら地球や地球を取り巻く環境への関心を高め、目的意識をもって観察、実験などを行い、地学的に探究する能力と態度を育てるとともに、地学の基本的な概念や原理・法則を理解させ、科学的な見方や考え方を養ってきた。「地学探究」では、さらに目的意識をもった観察、実験などの探究活動や問題演習等を通し、地学的な知識や探究心、理解力を育てていく。
使用教科書 ・副教材 等	教科書「地学基礎 改訂版」啓林館 図 表「ニューステージ 新地学図表」浜島書店 問題集「新課程チェック&演習」数研出版

2 学習方法等

○図や表、文章内容を理解し、系統的に地学を学ぶ。 ○問題演習に重点を置き、繰り返し学習する。 ○身近な現象、ニュース・天気予報に関心を持ち、自ら調べる等、探究的に学習する。
--

3 学習評価

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
科目ごとの評価の観点の趣旨	地学の基本的用語が内容まで含めて定着しているか	実験結果から考察する、対照実験を想定することなどができるか	継続的に学習に取り組めるか 授業中の発問に積極的に答えられるか
主な評価方法	・定期考査 ・実力テスト	・定期考査 ・実力テスト ・提出課題記述内容	・提出課題記述内容 ・授業中の発問内容

4 学習及び評価計画

※評価の観点：(a) 知識・技能、(b) 思考・判断・表現、(c) 主体的に学習に取り組む態度

学 期	学 習 内 容	月	学 習 の ね ら い	考査範囲	時数
第 1 学 期	「地学基礎」の復習と発展 第 1 部 固体地球とその変動 第 2 部 移り変わる地球	4 5 6	「地学基礎」の基本事項について、探究活動を通して総復習を行い、地学的に探究する方法や問題解決の能力を身に付ける。	各考査間の学習範囲を指示する。	2 0
	【課題・提出物等】 下記を指示に従い提出する。 ○実習・観察プリント ○課題・授業プリント ○授業ノート・問題集				
	【知識・技能】 ○定期テスト（90%）○提出課題（10%）				
	【思考・判断・表現】 ○定期テスト（80%）○提出課題（20%）				
	【主体的に学習に取り組む態度】 ○提出課題（60%）○授業態度（40%）				
第 2 学 期	【学期の評価方法】「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に取り組む態度」をそれぞれ数値化し、各観点を 40%、40%、20%の割合で総括し、10 段階評定とする。				
	第 3 部 大気と海洋	7	「地学基礎」の基本事項について、探究活動を通して総復習を行い、地学的に探究する方法や問題解決の能力を身に付ける。	各考査間の学習範囲を指示する。	2 5
	第 4 部 宇宙の構成	8			
	第 5 部 自然との共生	9			

第 3 学 期	総合演習①	10 11	問題演習を行い，地学の基本的な概 念や原理・法則の定着を図る。		
	[課題・提出物等] 下記を指示に従い提出する。				
	○実習・観察プリント ○課題・授業プリント ○授業ノート・問題集				
	【知識・技能】 ○定期テスト（90%）○提出課題(10%)				
	【思考・判断・表現】 ○定期テスト（80%）○提出課題(20%)				
	【主体的に学習に取り組む態度】 ○提出課題(60%)○授業態度(40%)				
	【学期の評価方法】「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に取り組む態度」をそれぞれ数 値化し、各観点を 40%、40%、20%の割合で総括し、10 段階評定とする。				
	総合問題演習授業（復習）	12 1 2	問題演習を中心に，地学的な考え方 の応用力を養う。	各 考 査 間 の 学 習 範 囲 を 指 示 する。	2 5
	[課題・提出物等] 授業の中で指示する。				
	【知識・技能】 ○定期テスト（90%）○提出課題(10%)				
	【思考・判断・表現】 ○定期テスト（80%）○提出課題(20%)				
	【主体的に学習に取り組む態度】 ○提出課題(60%)○授業態度(40%)				
【学期の評価方法】「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に取り組む態度」をそれぞれ数 値化し、各観点を 40%、40%、20%の割合で総括し、10 段階評定とする。					
【年間の学習状況の評価方法】各学期の「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に取り組む態度」をそれ ぞれ総括し、年間の 5 段階評定とする。					